

# 週報 みえぎよれん

- 浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌 -

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

## 三重県協同組合交流集会

- 今年で 3 回目の開催 -

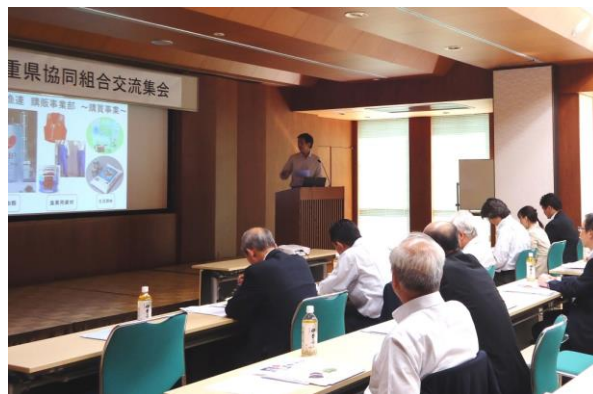
9 月 28 日(月)、JA ビルにおいて、今年で 3 回目の開催となる三重県協同組合交流集会が開催された。

この交流集会は、県内の協同組合の相互交流、県民への協同組合活動の意義等を広めることなどを目的に結集した JA、JF、生協、労福協の 4 つのグループと、その活動目的に賛同した中小企業団体中央会を構成団体として活動している三重県協同組合連絡協議会が主催しており、約 110 名が参加した。

冒頭、同協議会の上野達彦会長の挨拶後、本会購販事業部のり海藻課 寺家 諒氏の「のり海藻課の仕事」など同協議会の構成団体の 5 名の若手職員が、職場の紹介や働きがいなどについて発表した。

その後、三重大学人文学部法律経済学科の青木雅生准教授がコーディネーターとなり、発表者はパネルディスカッション形式で、日常業務の中でのエピソードや仕事でのやりがい、今後の目標について青木准教授や来場者と意見交換を行った。

同協議会では、今後も各団体の相互理解と連携を強めていくための取組みを進めていきたいとしている。



体験発表



パネルディスカッション

## 三重県産アサクサノリ種の採苗を実施

- 9/28~29伊曾島漁協にて -

9 月 28 日(月)、29 日(火)に伊曾島漁協にて、三重県産アサクサノリ種の陸上採苗が実施された。天候にも恵まれ、採苗は順調に進み予定通りに終了した。

アサクサノリ種は、県内を流れる河川で、野生のノリ葉体から種を採集し、県水産研究室が選抜育種した種苗を用いて、平成 25 年度から養殖試験が行われ

ており、今年度は 24 名が養殖試験に参加を予定している。

このアサクサノリ種は「伊勢あさくさ海苔」ブランドとして別等級で扱われる。市場の関心も高く、昨年度の漁連共販では、8,510円(100枚当たり)の平成25年度を上回る最高値が出た。そのため、養殖が難しいにもかかわらず、生産者の意欲は高まりを見せている。採苗されたノリ網は、10月下旬頃に海に張り込まれ、来年1月頃収穫を迎える予定。



採苗の様子



養生中のノリ網

**全国漁船安全操業推進月間  
- 10/1 より全国一斉実施 -**

全国漁船安全操業月間実行委員会では、漁業・水産業団体の連携による漁船

事故防止に向けた取り組みを一層推進していく必要があることから、毎年10月の1ヶ月間を「全国漁船安全操業推進月間」とし、漁業者及び漁業関係者に対して効果的な事故防止キャンペーンを全国一斉に展開している。

近年の漁船の衝突海難の原因としては、「見張り不十分」、「操業不適切」及び「居眠り運転」といった人為的要因によるものが9割以上を占めていることから、より一層の安全対策を心がけてください！

- 【主な取組内容】**
- ①安全操業や AIS の有効性等に関する広報普及啓発
  - ②海難防止講習会の開催
  - ③ライフジャケット着用の徹底
  - ④ライフジャケットの点検・整備等に関する講習 等



**【主な予定】**  
○10月 10～11 日

津ふれあいデー(津) ※津まつり同時開催  
本文の無断転載・転用等は固くお断りします。